

MfG_J_How_should_we_explain_Sho_by_Ryoukan

～ 良寛の書を如何に説明するか

手元にある良寛についての何冊かの本をひっくり返し、
2005年開催の、「良寛遺墨展カタログ」を手にして、
改めて解説文を読んで、気づきました。

「良寛遺墨展カタログ」の解説文

良寛の書_1 気宇壮大な書

良寛の書_2 「点の芸術」の草書

良寛の書_3 いろは、一二三

良寛の書_4 心月輪

きらめき、木漏れ日 馴染んだ風景 ～ みんな同じ感覚

眼と脳の作用_1 ～ 太陽の方向の意識

眼と脳の作用_2 ～ 錯視の例

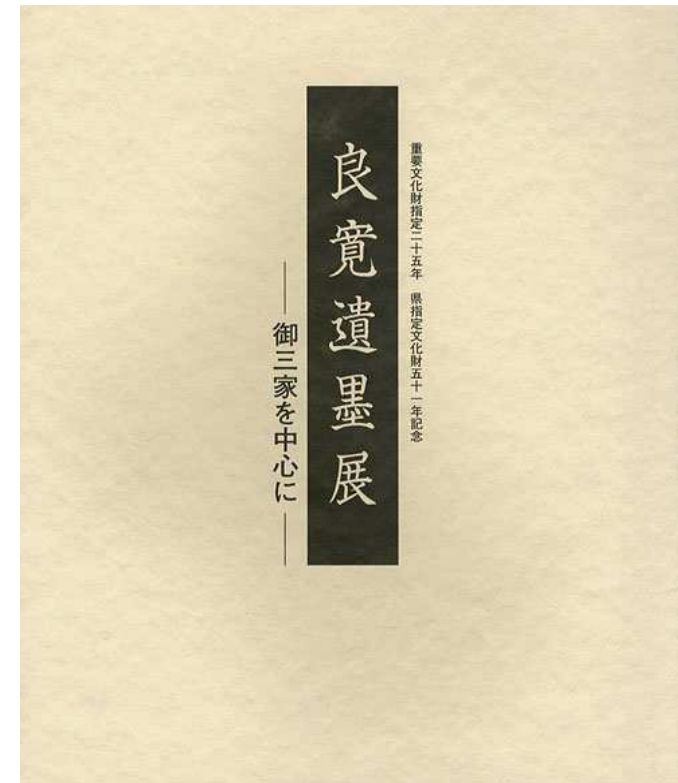
眼と脳の作用_3 ～ その場所は

良寛遺墨展 ―御三家を中心に― から、二点

(新潟県立近代美術館 2005年7月～8月)

良寛の遺墨が国の重要文化財指定を受けてから四半世紀、また、県の文化財指定からも半世紀が経ち、これを記念し、新潟県内に残る良寛遺墨に焦点をあて、遺墨を一堂に展示。

良寛と交遊し、また支援して深いゆかりを持つ、いわゆる「御三家」として知られる分水町の阿部家、解良家、和島村の木村家に伝わる遺墨から、重要文化財を含め二十八点もの名品をご紹介するほか、市町村文化財、そして未指定ながらも各家で大切に保管されてきた数々の名品。



良寛遺墨展 ―御三家を中心に― 新潟県立近代美術館・企画展(2005)

解説 良寛の書の魅力、また文化財として(部分)

松矢国憲さん(新潟県立近代美術館)

「読めない」、「わからない」と言われるのは書への常套語になってしまっているが、良寛の書は、輪を掛けて「文字なのかさえもわからない」と言われるのが、普通かもしれない。しかし、「一二三 いろは」のように語が理解できる書は、非常に人気が高い。それは何故か。文字が理解できる安心感の上に立って、そこで初めて書を見、引かれている線と余白との妙を見始めるからであろう。

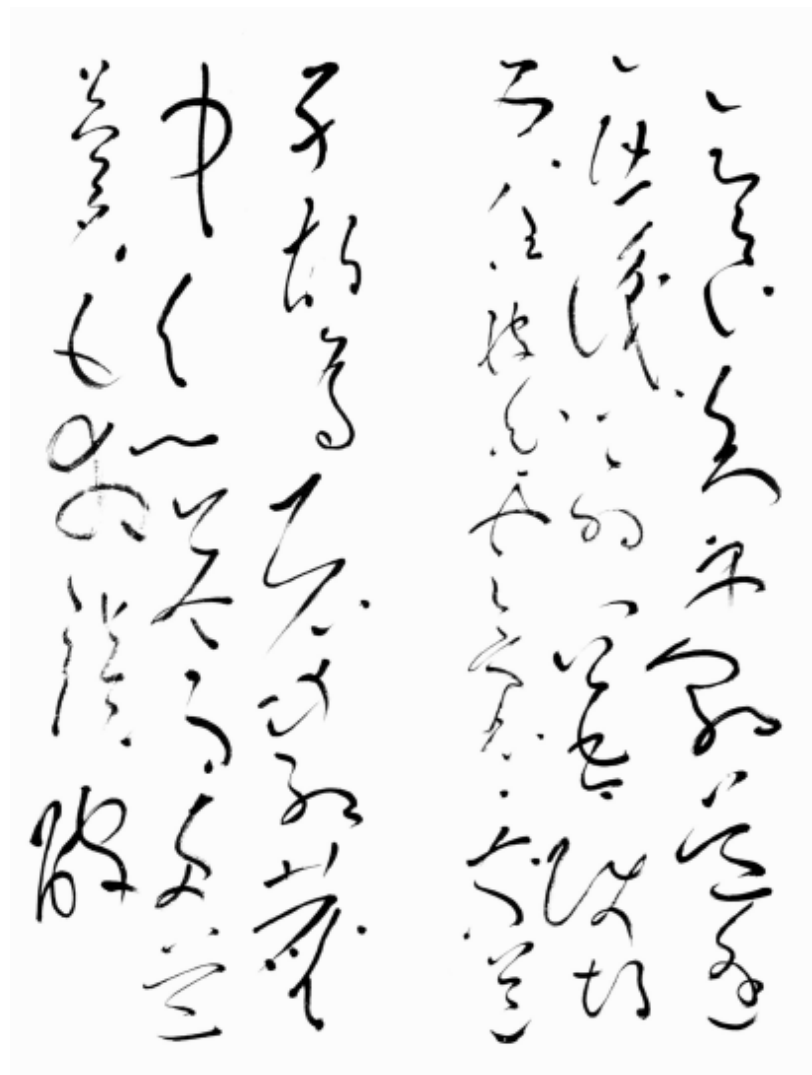
大きな紙面の中で「一二三 いろは」は細い線で書かれ、紙面全体の一割にも満たない墨の黒の部分であるが、引かれた線は決して余白の広さに劣っていない。この余白に響き渡る線の清澄さと、布置された線の運動性が均衡を保ち、互いに響きあいながら感じさせられる深遠な世界がそこに存在しているように思われる。

つまり読めなさそうに思っている書であっても、その安心感の部分を必要以上に理解しようとしなければ、良寛の書は「わからない」と叫ぶ人でも見えてくるのではないだろうか。

ではいったい、良寛の書の魅力は、どこにあるのだろうか。これまでの研究者も語っているが、線の清々しさと奔放さと言ってよいのではないかと考える。

乞食到市朝 良寛の屏風の中で気宇壮大な書

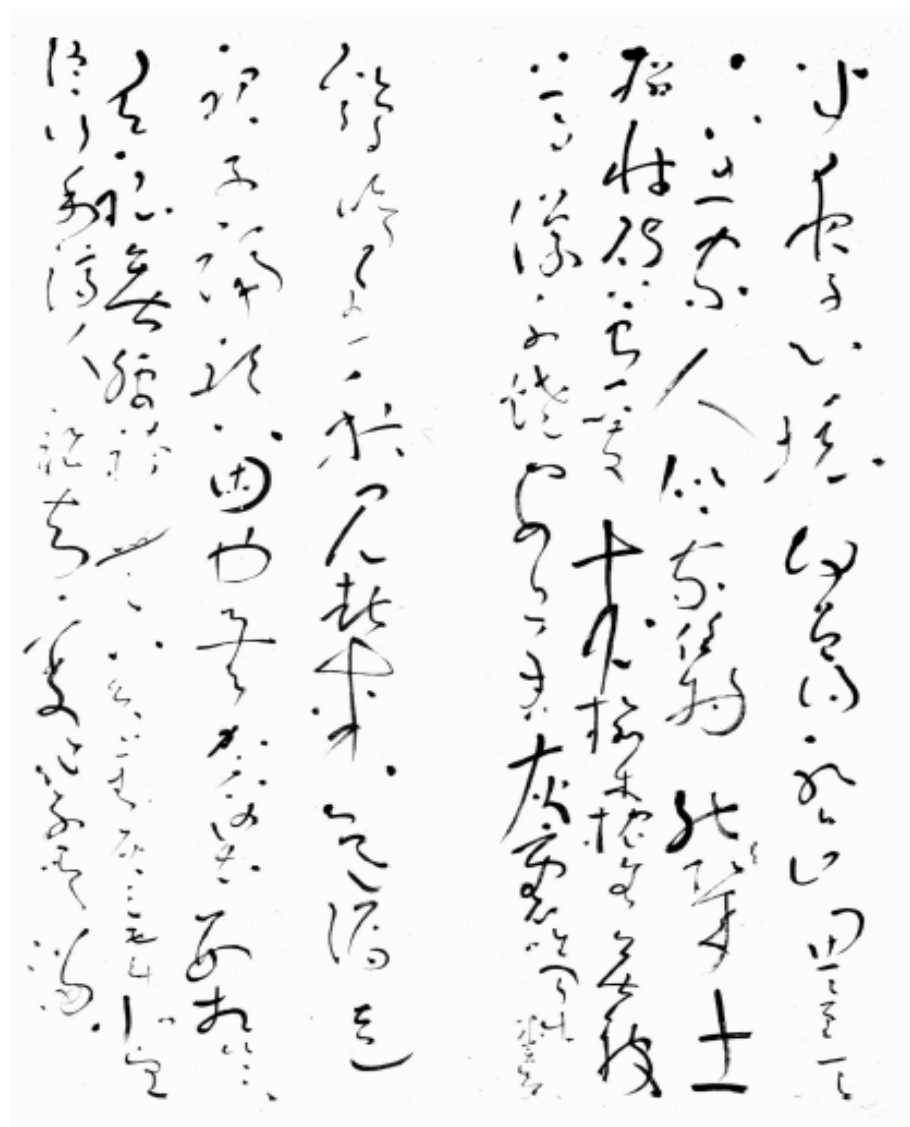
乞食到市朝道逢
 旧識翁問吾詩胡
 為住彼白雲裏我道
 子胡為老此紅塵
 中欲答不兩道
 夢五夜鏡(鐘)破



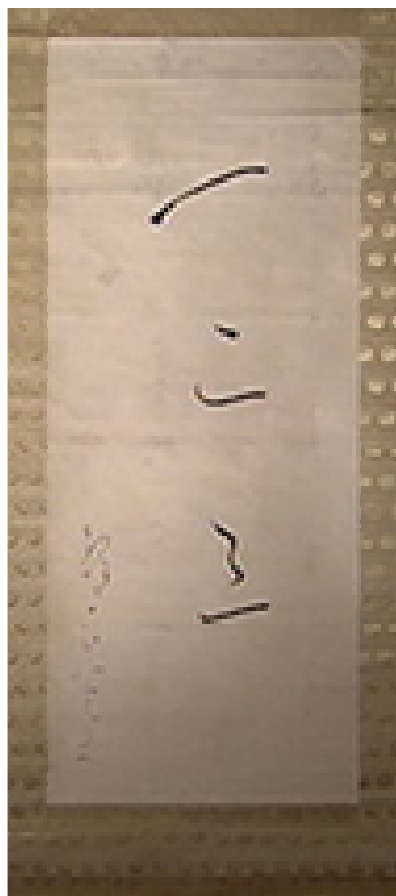
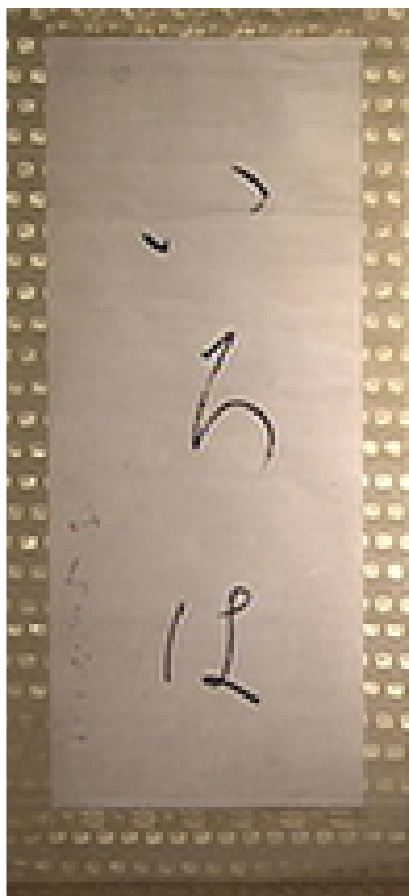
越州録 良寛の草書が「点の芸術」と
呼ばれることを、よく示している書

半夜子心境
何曾得暫止思量天
下出家人
似住持能有幾土

(最初の二行のみ)



いろは 一二三



「心月輪」



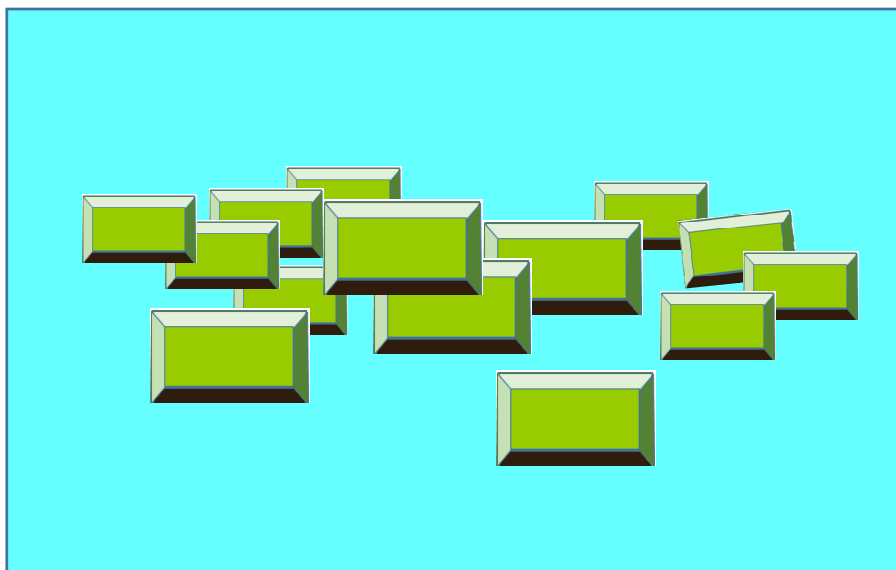
当時は、村上藩領であつた分水の支援者のひとり、庄屋解良家の滞在中、出入りの鍋職人の仕事を見ていた良寛が、使用できなくなった鍋蓋を所望し、サラリと書いたという。

解良家は、栗生津の鈴木家と直線で500メートルほど。ここで論語講義をしていた、近くの鈴木家の18歳の息子の話しっぷりを聞き、江戸遊学を親に強く勧めたという。後の長善館設立につながる話です。

馴染んだ風景 ～ みんな同じ感覚



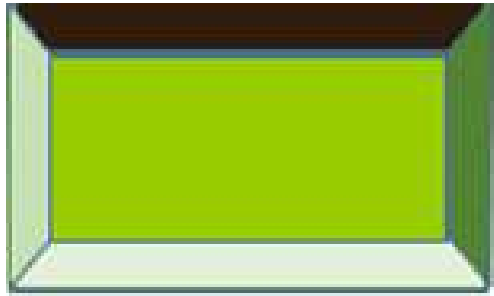
木漏れ日の解釈



太陽の方向の意識（上方からの光）

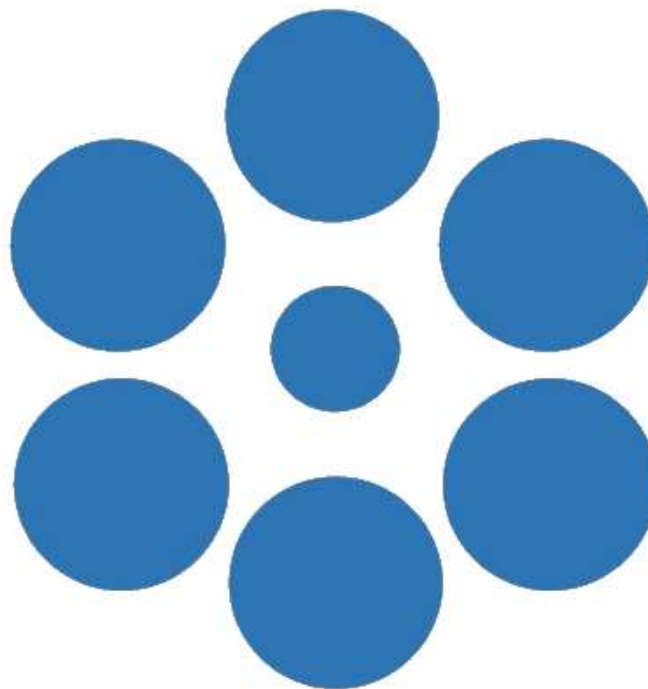


太陽の方向の意識 （下方からの光）

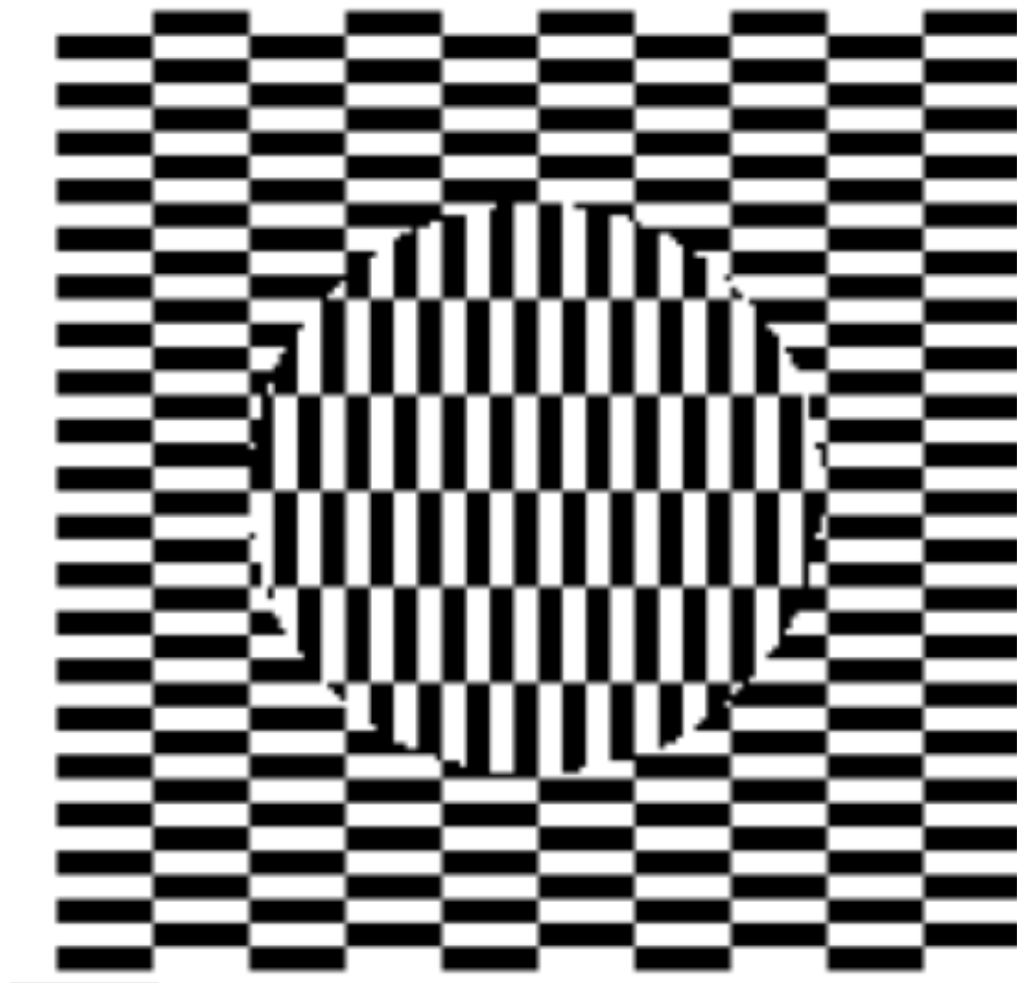


脊椎動物の祖先から進化する過程で、光受容タンパク質が新たに特別なアミノ酸残基を獲得することによってシグナル増幅効率を高めた。すなわち我々の光の方角など、光の認知は、四億年前に備わったと言えます。

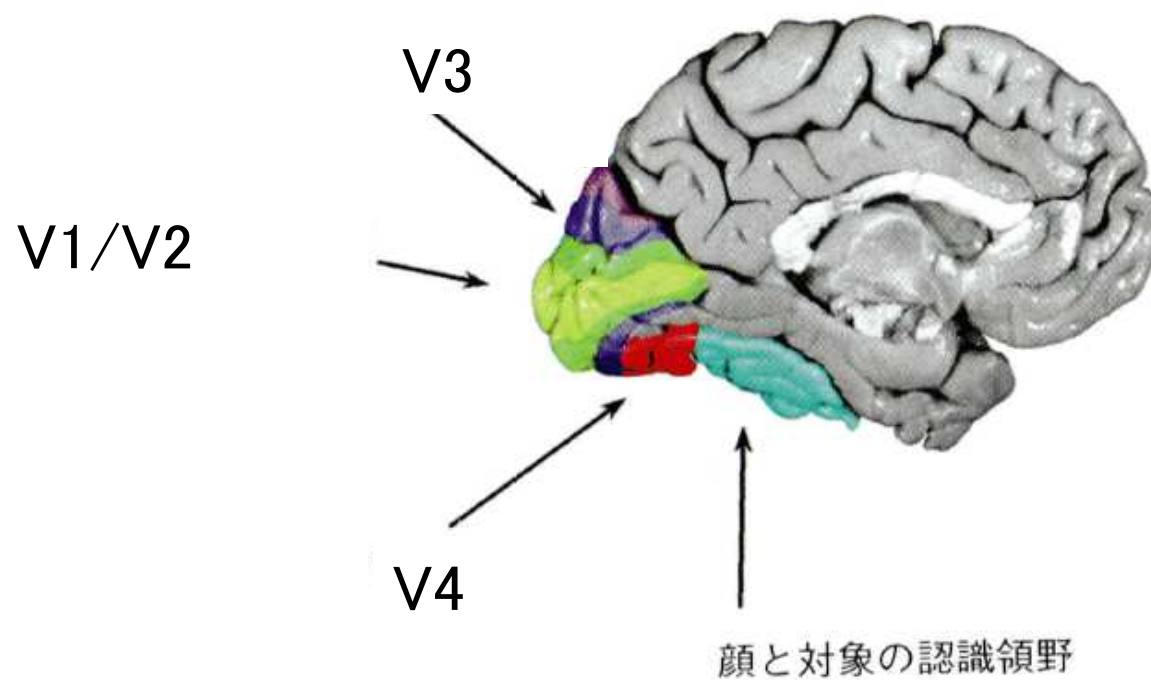
錯視_1



錯視_2



光の上下を識別する視覚野



- 2005/07- 良寛遺墨展 ー御三家を中心に
(阿部家、解良家、木村家、ほか)
- 2006/09-11 中越大震災復興祈念特別展 新潟の仏像展
水野敬三郎館長の監修により、
国指定重要文化財・県指定文化財を中心とする仏像の名品約80点
- 2010/05 -「奈良の古寺と仏像」
中宮寺の国宝・菩薩半跏像のほか、
法隆寺の観音菩薩や東大寺の弥勒菩薩、
唐招提寺の十一面観音菩薩
- 2014/07 -「東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年」
国宝《地藏菩薩立像》